

7月16日（月曜日） 全校朝会 校長先生のお話です

～学校生活を楽しく過ごすために～

今日は昨年と同じく、みなさんが学校生活を楽しく過ごすために知っておいてもらいたいお話をします。1年生は初めてですね。よく聴いてください。

これからお話をすることは、みなさんの大切な体と心を守るためのお話です。

近年、先生から子供たちが自分の体の大切なところを触られたり、見られたり、言葉やメールなどで要求されたりすることがおき、全国的な問題としてニュースでも取り上げられることもありました。こうした問題で大事なことは、被害にあった子供の心が傷ついてしまうことです。心の傷は一生きえないかもしれません。こうした事は、先生に限らずどんな大人の人でも、友達同士でもやってはいけないことです。

学校生活の中で、みなさんがいやなことをされ、困ったと思うような目に合わないよう、先生方が子供たちにしてはいけない新しくできた法律でルールがあります。その例は次の3つです。

○先生は、学校の中や学校の外でみなさんと内緒で二人きりになりません。

指導上一対一になる場合は、だれか他の先生を立ち合わせます。または、校長先生に報告することを徹底します。

○先生は、みなさんと内緒で連絡はしません。

携帯電話やスマートフォンで子供と個人的なやり取りをさせません。

○先生は、みなさんの体に、必要もないのにさわりません。

必要もないのに体にさわるとは、先生としてふさわしくない行いとして、しないように徹底します。

例えばこんなこともそれに値します。先生がみなさんを励ましたり、褒めたりしようと思い、手に触れたり、背中に触れたり、頭をなでたりすることも必要のないのに体にさわることになります。低学年の人はわからないかもしれませんが、覚えてください。

ただし、保健室や具合の悪くなった子供の対応や、体育科の授業でのけがの防止、みなさんの身体を守るために体をさわらなければいけないことは、必要な行いなので、今まで通りです。

もしルールを守らない先生方がいたら、

○みなさんは「いやです」と言っていていいです。そしてすぐにその場から離れてください。

○すぐにお家の方や、校長先生をはじめ、他の先生たちなど、みなさんが安心できる大人の人に相談してください。

○もし、知っている人には相談しにくい、誰に相談したらわからない時は、朝会後に配られた用紙に記載されている電話番号、メールアドレスに連絡してください。電話やメールを使わない場合は、用紙に相談したことを書いて送ることもできます。最後に、校長先生も先生たちも、みなさんのことを心配しています。もしも、先生から「いやだなあ」「こまったなあ」と感じることをされたときは、ぜひ、一人で悩まないで相談してください。朝会后、教室に帰ったら担任の先生から、お手紙、両面刷りの相談シート、保護者の方へのお手紙が配布されますので、お家に帰ったら、保護者の方に渡してください。お話を終わります。

